大学院特別講義

（医歯学先端研究特論）（生命理工学先端研究特論）
（医歯理工学先端研究特論）

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

１．講　師　　大阪大学大学院歯学研究科　顎顔面口腔矯正学教室
教授　　山城　隆　先生

２．演　題　　「口唇裂・口蓋裂に伴う上顎骨成長障害に対して
上顎骨前方部延長術を応用した矯正歯科治療」

３．日　時　　平成２８年７月２０日（水）１７時００分～１８時３０分

４．場　所　　７号館【歯学部校舎棟】2階　第２講義室

５．要　旨

　唇顎口蓋裂患者の外科的矯正治療では、上顎骨の前方移動が鼻咽腔閉鎖機能をさらに悪化させるおそれがある。上顎骨前方部骨延長術(Maxillary Segmental Distraction Osteogenesis, MASDO)は、上顎骨を大臼歯の近心で前後に 2 分割し、後方端の位置を変えずに前方端のみを骨延長で前方移動させるため、鼻咽腔閉鎖機能を維持したまま、咀嚼機能と発語機能を改善する。MASDO の適応症、予後、後戻り、さらには MASDO 後の歯の移動について紹介する。

連絡先：　島崎　一夫（咬合機能矯正学分野　内線 5963）